伏兵 創価大 往路初V

「全く予想外」、監督も驚き

箱根駅伝

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は2日、東京・大手町から箱根町までの5区間、107・5キロで行われ、出場4度目の創価大が3時間28分45秒で初の往路優勝を果たした。

東洋大が2分14秒差の2位、三連覇を目指す青山学院大が3位に入った。

東京国際大のエンジン、駒大の鈴木芽吹（1年）が区間賞の走りを見せ、4位に浮上した。

1区の鶴見・川崎区間は、創価大の福田悠一（4年）が、ラスト1キロでトップに立ち、そのまま逃げ切った。2位の東洋大・三上雄太（3年）との差は1秒。3位の青山学院大・飯田貴之（4年）は、ラスト1キロで東洋大を抜き、1位から1秒差の2位でゴールした。

2区の戸塚・平塚区間では、創価大のルムワが区間2位の走りを見せ、1位の東洋大・梅崎蓮（3年）との差を1秒縮め、3位の青山学院大・岸本大紀（3年）との差を1秒広げた。

3区の平塚・箱根区間では、創価大の嶋津雄大（4年）が区間2位の走りで、1位の東洋大・宮下隼人（3年）との差を1秒縮め、3位の青山学院大・佐藤一世（3年）との差を1秒広げた。

4区の箱根・芦ノ湖区間では、東洋大の服部弾馬（3年）が区間2位の走りで、1位の青山学院大・吉田圭太（3年）との差を1秒縮め、3位の創価大・吉田凌（3年）との差を1秒広げた。

5区の芦ノ湖・箱根区間では、東洋大の宮下隼人が区間2位の走りで、1位の青山学院大・竹石尚逸（4年）との差を1秒縮め、3位の創価大・三上雄太との差を1秒広げ、そのまま逃げ切った。

往路をトップでゴールする創価大・三上雄太＝箱根・芦ノ湖ゴール（花輪 久写す）

往路を8位でゴールした神奈川大・北崎（花輪 久写す）

往路各区成績

①創価大（福田、ムルワ、葛西、嶋津、三上）5時間28分8秒
②東洋大（信、梅崎、洋、大矢、大久保、宮下、服部弾、吉田凌、三上）5時間30分22秒
③青山学院大（岸本、佐藤一世、飯田、吉田圭、竹石、岸、森、飯田、佐藤、吉田）5時間30分29秒
④東京国際大（鶴、鈴木芽吹、ピンセント、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ）5時間30分39秒
⑤神奈川大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間31分35秒
⑥東京国際大（ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ）5時間32分6秒
⑦順天堂大（内田、小林、西澤、鈴木）5時間33分31秒
⑧神奈川大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間33分40秒
⑨国士舞大（石塚、高橋、鈴木、大塚、大塚、大塚、大塚、大塚）5時間34分52秒
⑩拓殖大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間35分1秒
⑪明治大（小澤、小澤、小澤、小澤、小澤）5時間35分12秒
⑫青山学院大（岸、岸、岸、岸、岸）5時間35分43秒
⑬城西大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間35分44秒
⑭明治大（小澤、小澤、小澤、小澤、小澤）5時間36分3秒
⑮日体大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間36分38秒
⑯法政大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間37分14秒
⑰東洋大（信、信、信、信、信）5時間37分48秒
⑱山梨学院大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分38秒
⑲中央大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分17秒
⑳専修大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分56秒
（創価大は第3区の箱根・芦ノ湖区間で、関東学生連合は第5区の芦ノ湖・箱根区間で、関東学生連合はオープン参加のため順位なし）

【経過】創価大は1区の福田が3位で滑り出し、2区のムルワが2位浮上。4区の鳴海が首位を奪い、5区で三上が逃げ切った。区間順位は2区の6位のほかは2位か3位と安定していた。

2区以降5位でたすきをつないで東洋大は、5区の宮下が区間1位の走りで2位に。駒大は1区の15位から繰り返し3位につけ、青学大は2、3区で区間14位と失速。東京国際大の2区、ピンセント・イエゴンは区間記録を8秒縮める快走で一時首位に立った。

【区間1位記録】
▽1区（21・3キロ）
鎌田航生（法大）1時間3分0秒
▽2区（23・1キロ）
ピンセント・イエゴン（東京国際大）1時間5分49秒＝区間新
▽3区（21・4キロ）
石原翔太郎（東海大）1時間2分5秒
▽4区（20・9キロ）
ポール・オニエゴ（山梨学院人）1時間2分15秒
▽5区（20・8キロ）
細谷翔馬（帝京大）1時間11分52秒

【区間記録】（箱根・芦ノ湖ゴール）

区	選手	名年	記録	区間順位
1区	福田 悠一④		1時間3分15秒	③③
2区	フィリップ・ムルワ②		1時間7分18秒	⑥②
3区	葛西 潤②		1時間2分41秒	③②
4区	鳴海 雄大③		1時間2分49秒	②①
5区	三上 雄太③		1時間12分5秒	②①

【劇伯大区間記録】

区	選手	名年	記録	区間順位
1区	福田 悠一④		1時間3分15秒	③③
2区	フィリップ・ムルワ②		1時間7分18秒	⑥②
3区	葛西 潤②		1時間2分41秒	③②
4区	鳴海 雄大③		1時間2分49秒	②①
5区	三上 雄太③		1時間12分5秒	②①

シード権へ好発進

神奈川大8位

希望をつなぐ往路8位がってくれた」と神奈川大だ。「出来過ぎ」10番目後の大保治監督（56）。4年と思っていたが、つまづき、転、ペリのエース北崎拓（4年）

4年ぶり 攻めて返り咲きを

った。駅伝の定石を体現した。

「1、2区がうまく流れた。乗ってくれた。吞まれずいとこで渡してくれたのが一番大きい。」

さあ、トップとは5分35秒差で後続を待つ。このまま逃げ切れるか。

「全てを出せる状態でスタートを切れた。以降も前の走者の背中を追い、順位を上げることを心がけていた。」

「全国大会を経験していない選手が多いなかで、往路に名を連ねたのは3、4年。そこには4年間で成長を育てる指導者の思いも結実されている。」

上位陣には意地もあっただろう。その筆頭は5区で順位を二つ押し上げた青学北崎だ。

前回2区で区間20位に沈んだ、夏場の故障で合宿の参加を回避するなど出遅れた。それでも、「最後の箱根駅伝。もう後悔したくない」。執念が箱根の山で爆発した。

さあ、トップとは5分35秒差で後続を待つ。このまま逃げ切れるか。

「全てを出せる状態でスタートを切れた。以降も前の走者の背中を追い、順位を上げることを心がけていた。」

「全国大会を経験していない選手が多いなかで、往路に名を連ねたのは3、4年。そこには4年間で成長を育てる指導者の思いも結実されている。」

上位陣には意地もあっただろう。その筆頭は5区で順位を二つ押し上げた青学北崎だ。前回2区で区間20位に沈んだ、夏場の故障で合宿の参加を回避するなど出遅れた。それでも、「最後の箱根駅伝。もう後悔したくない」。執念が箱根の山で爆発した。

【神奈川大区間記録】

区	選手	名年	記録	区間順位
1区	吞村 大樹③		1時間3分16秒	④④
2区	井手 孝一③		1時間7分39秒	③②
3区	川口 慧③		1時間4分25秒	⑩⑨
4区	西方 大珠③		1時間4分7秒	⑨⑨
5区	北崎 拓矢④		1時間14分19秒	⑪⑧

「全く予想外」、監督も驚き

箱根駅伝

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は2日、東京・大手町から箱根町までの5区間、107・5キロで行われ、出場4度目の創価大が3時間28分45秒で初の往路優勝を果たした。

東洋大が2分14秒差の2位、三連覇を目指す青山学院大が3位に入った。

東京国際大のエンジン、駒大の鈴木芽吹（1年）が区間賞の走りを見せ、4位に浮上した。

1区の鶴見・川崎区間は、創価大の福田悠一（4年）が、ラスト1キロでトップに立ち、そのまま逃げ切った。2位の東洋大・三上雄太（3年）との差は1秒。3位の青山学院大・飯田貴之（4年）は、ラスト1キロで東洋大を抜き、1位から1秒差の2位でゴールした。

2区の戸塚・平塚区間では、創価大のルムワが区間2位の走りを見せ、1位の東洋大・梅崎蓮（3年）との差を1秒縮め、3位の青山学院大・佐藤一世（3年）との差を1秒広げた。

3区の平塚・箱根区間では、創価大の嶋津雄大（4年）が区間2位の走りで、1位の東洋大・宮下隼人（3年）との差を1秒縮め、3位の青山学院大・佐藤一世（3年）との差を1秒広げた。

4区の箱根・芦ノ湖区間では、東洋大の服部弾馬（3年）が区間2位の走りで、1位の青山学院大・吉田圭太（3年）との差を1秒縮め、3位の創価大・吉田凌（3年）との差を1秒広げた。

5区の芦ノ湖・箱根区間では、東洋大の宮下隼人が区間2位の走りで、1位の青山学院大・竹石尚逸（4年）との差を1秒縮め、3位の創価大・三上雄太との差を1秒広げ、そのまま逃げ切った。

往路をトップでゴールする創価大・三上雄太＝箱根・芦ノ湖ゴール（花輪 久写す）

往路各区成績

①創価大（福田、ムルワ、葛西、嶋津、三上）5時間28分8秒
②東洋大（信、梅崎、洋、大矢、大久保、宮下、服部弾、吉田凌、三上）5時間30分22秒
③青山学院大（岸本、佐藤一世、飯田、吉田圭、竹石、岸、森、飯田、佐藤、吉田）5時間30分29秒
④東京国際大（鶴、鈴木芽吹、ピンセント、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ）5時間30分39秒
⑤神奈川大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間31分35秒
⑥東京国際大（ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ）5時間32分6秒
⑦順天堂大（内田、小林、西澤、鈴木）5時間33分31秒
⑧神奈川大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間33分40秒
⑨国士舞大（石塚、高橋、鈴木、大塚、大塚、大塚、大塚、大塚）5時間34分52秒
⑩拓殖大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間35分1秒
⑪明治大（小澤、小澤、小澤、小澤、小澤）5時間35分12秒
⑫青山学院大（岸、岸、岸、岸、岸）5時間35分43秒
⑬城西大（中村、北崎、山口、西方、鈴木、北崎）5時間35分44秒
⑭明治大（小澤、小澤、小澤、小澤、小澤）5時間36分3秒
⑮日体大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間36分38秒
⑯法政大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間37分14秒
⑰東洋大（信、信、信、信、信）5時間37分48秒
⑱山梨学院大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分38秒
⑲中央大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分17秒
⑳専修大（内田、内田、内田、内田、内田）5時間38分56秒
（創価大は第3区の箱根・芦ノ湖区間で、関東学生連合は第5区の芦ノ湖・箱根区間で、関東学生連合はオープン参加のため順位なし）

【経過】創価大は1区の福田が3位で滑り出し、2区のムルワが2位浮上。4区の鳴海が首位を奪い、5区で三上が逃げ切った。区間順位は2区の6位のほかは2位か3位と安定していた。

2区以降5位でたすきをつないで東洋大は、5区の宮下が区間1位の走りで2位に。駒大は1区の15位から繰り返し3位につけ、青学大は2、3区で区間14位と失速。東京国際大の2区、ピンセント・イエゴンは区間記録を8秒縮める快走で一時首位に立った。

【区間1位記録】
▽1区（21・3キロ）
鎌田航生（法大）1時間3分0秒
▽2区（23・1キロ）
ピンセント・イエゴン（東京国際大）1時間5分49秒＝区間新
▽3区（21・4キロ）
石原翔太郎（東海大）1時間2分5秒
▽4区（20・9キロ）
ポール・オニエゴ（山梨学院人）1時間2分15秒
▽5区（20・8キロ）
細谷翔馬（帝京大）1時間11分52秒

【区間記録】（箱根・芦ノ湖ゴール）

区	選手	名年	記録	区間順位
1区	福田 悠一④		1時間3分15秒	③③
2区	フィリップ・ムルワ②		1時間7分18秒	⑥②
3区	葛西 潤②		1時間2分41秒	③②
4区	鳴海 雄大③		1時間2分49秒	②①
5区	三上 雄太③		1時間12分5秒	②①

【劇伯大区間記録】

区	選手	名年	記録	区間順位
1区	福田 悠一④		1時間3分15秒	③③
2区	フィリップ・ムルワ②		1時間7分18秒	⑥②
3区	葛西 潤②		1時間2分41秒	③②
4区	鳴海 雄大③		1時間2分49秒	②①
5区	三上 雄太③		1時間12分5秒	②①

大 心へし折った 早「モール攻撃」

ラグビー

全国大学選手権

ラグビーの全国大学選手権2回戦が1日、東京・秩父宮ラグビー場で東洋大（関東1位）と対戦し、41・15で勝ち、ベスト8に進んだ。東洋大は日本代表の中村亮土（4年）、ウイングの竹山晃暉（3年）らを欠いたが、早大は17日の天理大（関西1位）戦に向けて、ベストメンバーを出場させた。

早大は前半にトライを2位に加え、ラインアウトからのモールでフッカーの宮武の2トライ目を奪った。

ラインアウトでは、ボールを投げる選手を2人にするなどの工夫を凝らし、相手の攻撃を封じた。

ラインアウトからのモールでは、ボールを奪われたり、ペナルティーを与えたりしたケースもあったが、ほぼ思い通りの攻撃を見せた。4人の鳴津竜、ウィングの山口大輝（4年）らが、ラインアウトからのモールでフッカーの宮武の2トライ目を奪った。

早大は攻撃してきたラインアウトからのモールで、主将のフッカー佐藤健次（4年）を中心に、強くまとまった。

ラインアウトの成功率は、ほぼ100パーセントだった。

早大は攻撃してきたラインアウトからのモールで、主将のフッカー佐藤健次（4年）を中心に、強くまとまった。

ラインアウトの成功率は、ほぼ100パーセントだった。

ラインアウトからのモールでは、ボールを奪われたり、ペナルティーを与えたりしたケースもあったが、ほぼ思い通りの攻撃を見せた。4人の鳴津竜、ウィングの山口大輝（4年）らが、ラインアウトからのモールでフッカーの宮武の2トライ目を奪った